

## 「現代文B」シラバス

学科	普通科	学年	3年	類型	I・II・III	組	1～4組	単位数	2
使用教科書	高等学校 現代文B (第一学習社)								
副教材等	トータルサポート新国語便覧(大修館書店) 大学入試に出た核心漢字 2500+語彙 1000(尚文出版)								

### 1 学習の到達目標

- |  |
|--|
| <p>(1) 近代以降の様々な文章を読み、国語を適切に表現し理解する能力を育成する。</p> <p>(2) 互いに伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き、思考力を伸ばす。</p> <p>(3) 読書によって人生を豊かにする態度を育て、言語文化に対する関心を深める。</p> |
|--|

### 2 学習評価

次の五つの観点に基づき、各学期ともに下記の評価項目により、100点法で評価する。なお、定期考査の評価を8割、その他の項目の総合評価を2割で評価する。

①関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしているか。					
②話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めているか。					
③書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めているか。					
④読む能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているか。					
⑤知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けているか。					
観点	①	②	③	④	⑤	備考
評価方法						
学習活動の観察	A	B	B	B	B	毎時間の授業態度の評価
ノート提出	A	C	A	—	C	テスト前など指示がある時に提出
課題提出	A	C	B	C	B	テスト前など指示がある時に提出
小テスト	A	—	B	A	A	適宜実施
定期考査	A	—	B	A	A	中間・期末・学年末考査

※ 表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

### 3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	評論（一） 「写真の持つ力」 長倉 洋海  小説（三） 「枯野抄」芥川龍之介  評論（二） 「言語が見せる世界」 野矢 茂樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の論理展開を正確に捉える。</li> <li>・具体例と筆者の主張の関係について理解する。</li> <li>・フォトジャーナリズムについて考える。</li> <li>・小説の場面設定や登場人物の心情描写などに注目し、短編小説を構成する豊かな表現を味わうとともに、筆者の出来事に対する解釈の視点を理解する。</li> <li>・小説の虚構的世界を正確に読み取り、鑑賞する力を身に付ける。</li> <li>・具体例が引用される意図を理解し、筆者の主張を把握する。</li> <li>・現代社会における言語観について見識を深める。</li> <li>・評論用語の意味を理解する。</li> </ul>
二 学 期	評論（三） 「身体の個性」浜田寿美男  小説（三） 「幼なじみたち」遠藤 周作  評論（四） 「リスク社会とは何か」 大澤 真幸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの論を対比的に説明していく論理展開を把握して、筆者の主張を的確に読み取る。</li> <li>・具体例によって示された抽象概念を理解する。</li> <li>・テーマを的確に捉え、他者の体験や心情を自己の問題として捉え直す。</li> <li>・人間の「生」の意味と意義を考える。</li> <li>・論理的な文章の構成・展開を把握して、要旨を的確に理解する。</li> <li>・科学が自明視していた想定崩壊や、人々の抱いていた幻想の喪失など、現代のリスク社会が直面している現状を把握し、それらを自分の問題として捉える。</li> </ul>
三 学 期	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代文学の総復習をし、実践的な学力を身に付ける。</li> </ul>